

平成30年度 下水道維持管理業務取組発表会
発表概要

所属 多々良川浄化センター
発表タイトル 高濃度リン流入に対する対応について
取組の目的 継続した高濃度リンの流入で、放流水中のリン濃度及び脱水汚泥中のニッケル濃度が法規制値を超過する恐れがあったため、水質監視の強化により、排出元を特定し、排出停止に至った。
取組内容 監視体制の強化（採水頻度の増加）により、高濃度リン流入時の水質を分析し、排出元の業態及び事業者の絞り込みを行った。 その後、可能性の高い事業者の直下流マンホールから採水し、水質を分析した結果、高濃度リンが検出され、排出元を特定することができた。 排出元に対しては、自治体や県環境部等から協力を求めることにより、高濃度リンの排出が停止された。
取組成果・効果 排出元を特定できたことが高濃度リンの排出停止に繋がり、放流水質及び汚泥中のニッケル濃度を正常化することができた。